

平成25年度 全方位的学校評価書

学校名	日田市立高瀬小学校
学校長名	藤野 明

自己評価基準
◎＝完全に達成できた(達成率100%以上)
○＝ほぼ達成できた(達成率80%以上)
△＝一部達成できなかった(達成率60～79%)
×＝達成できなかった(達成率60%未満)

日田市重点項目	重点的取組	取組指標	年間	次年度に向けての課題 および改善の方策
			自己評価	
【豊かな心の育成】 先哲の生き方や郷土に 学ぶ学習の推進	廣瀬淡窓等の先哲や学 校林にまつわる人々との 関わりを取り上げた授業 や活動の構築	日田の先哲広瀬淡窓につ いて、道徳の時間や総合 的な学習の時間に全学年 で取り組む。 「受け継ごう学校林」6 年生が総合的な学習の時 間に取り組む。	○	・「休道の詩」の朗読の継続する。 ・「万善簿」に取り組む。 ・いろは歌を学習に位置付ける。 ・学校林と理科や社会科との関連を 図る。
【確かな学力の育成】 活用する力の育成	1時間完結型授業によ る活用力を高める授業力 の向上	1時間のねらいとまとめ が位置付いた板書を全職 員が取り組む。	○	・授業の振り返りの言葉を継続する。 ・学習規律の指導を徹底する。 ・中心課題を取り入れ、授業の流れがわ かる計画的な板書をする。 ・「ねらい」と「めあて」の位置づけを 共通理解し板書に位置付ける。 ・活用力を高める授業を工夫する。
【健やかな体の育成】 健やかで活力を高める 体づくり（一校一実 践）	縄跳びを通して健やか で活力を高める体づくり	毎週火曜日のハッスル 朝会で短縄跳びや長縄跳 びに取り組ませる。 体育の時間と朝の活動 の時間に短縄跳びを行 う。	○	・縄跳びカードを工夫して意欲を持 たせ、取組を継続する。 ・短縄跳びの成果を発表する場を増 やし、意欲化を図る。
【信頼される学校】 小中連携・一貫教育の 推進	「学習のきまり」「生 活のきまり」等の統一指 導	「たかせスタンダード 2013」（「あたりまえ」のこ とを「あたりまえ」に）を教 室掲示し、学習・生活の両面 で全校統一指導を行い、「南 中ブランド」「凡事徹底」に つなぐ。	○	・高瀬スタンダードを継続して取り 組む。 ・全校児童にめざす姿を指導する。 ・家庭学習や忘れものについて、家 庭との連携を図る。
【信頼される学校】 「不登校」「いじめ」 「問題行動」の未然防 止、早期発見、早期対 応	生活ノートやアンケ ート等による情報収集、教 育相談	第1水曜日に生活・人権会議 を位置づける。学級朝・帰 りの会のいずれかに生活目標の確 認と反省を行わせる。 学期に1回「いじめアンケ ート」を行い、実態把握と対策を 講じる。	△	・アンケートを基に人権朝会、集会 を継続し、トラブルの解決への意欲 を高める。 ・悩みの相談の時間を設ける。 ・生活人権会議で気になる子どもを 出し合い、ケース会議等のつなぎを 工夫する。
【信頼される学校】 組織的に機能する学校 体制づくり	運営委員会を核とした 【知】【徳】【体】の3プ ロジェクト制の推進	運営委員会を第1月曜 日に位置づけ、各プロ ジェクト会議は、第1・ 3水曜日に開催。	○	・全職員への周知徹底を図るため に、プロジェクト会議の意見を取り 上げる。 ・全体会議等での伝達を工夫する。 ・内容を取捨選択し、時間の効率化 を図る。
【地域との連携】 公民館との連携による 地域協育の推進	地域人材の活用並びに 地区行事への積極的参加	2学期のクラブの指導 者を公民館を通じて派遣 していただく。 「ふれあいデー」「人 権フェスティバル」等の 相互協力を行う。	○	・クラブや授業にも地域の人材活用 を広めていく。 ・地区行事へ年1回は参加する。